



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



解答例

2022年8月23日夕刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

処暑の風に揺られ

23日は二十四節気の「処暑」。暑さが和らぎ、秋の涼しさが訪れる頃とされる。午前の県内は気圧の谷や湿った空気の影響で曇り空となった。気象庁によると、午前10時現在の各地の最高気温は静岡30・8度、浜松28・8度、三島30・0度。

吉田公園

パンパスグラス見頃

吉田町川尻の吉田公園では、西洋ススキとも呼ばれるイネ科の多年草「パンパスグラス」の穂が見頃を迎えている。来園者は風に揺れる穂に秋の訪れを感じながら園内の散策を楽しんだ。
(写真部・宮崎隆男)



処暑の風にそよぐパンパスグラス
23日午前8時50分ごろ、吉田町川尻の吉田公園

- ①二十四節気の「処暑」とは、どんな頃のことですか。
(**暑さが和らぎ、秋の涼しさが訪れる頃。**)
- ②この日が「処暑」にふさわしい気候になった理由は何ですか。
(**気圧の谷や湿った空気の影響で曇り空となったから。**)

③イネ科の多年草「パンパグラス」は、別名何と呼ばれていますか。

(**西洋ススキ**)

④あなたは何かから「秋の訪れ」を感じますか。30字以内で書きましょう(句読点はつけません)。

(例) **パンパグラスのたくさんの穂が風にそよいでいる様子。(25字)**
昼間のセミの鳴き声がやみ、夜の虫の音が大きくなること。(27字)
朝晩の気温が下がり、ひんやりした空気になること。(24字)
ヒガンバナが咲いたり、カキの実が色づいたりする様子。(26字)

など

年 組 名前